

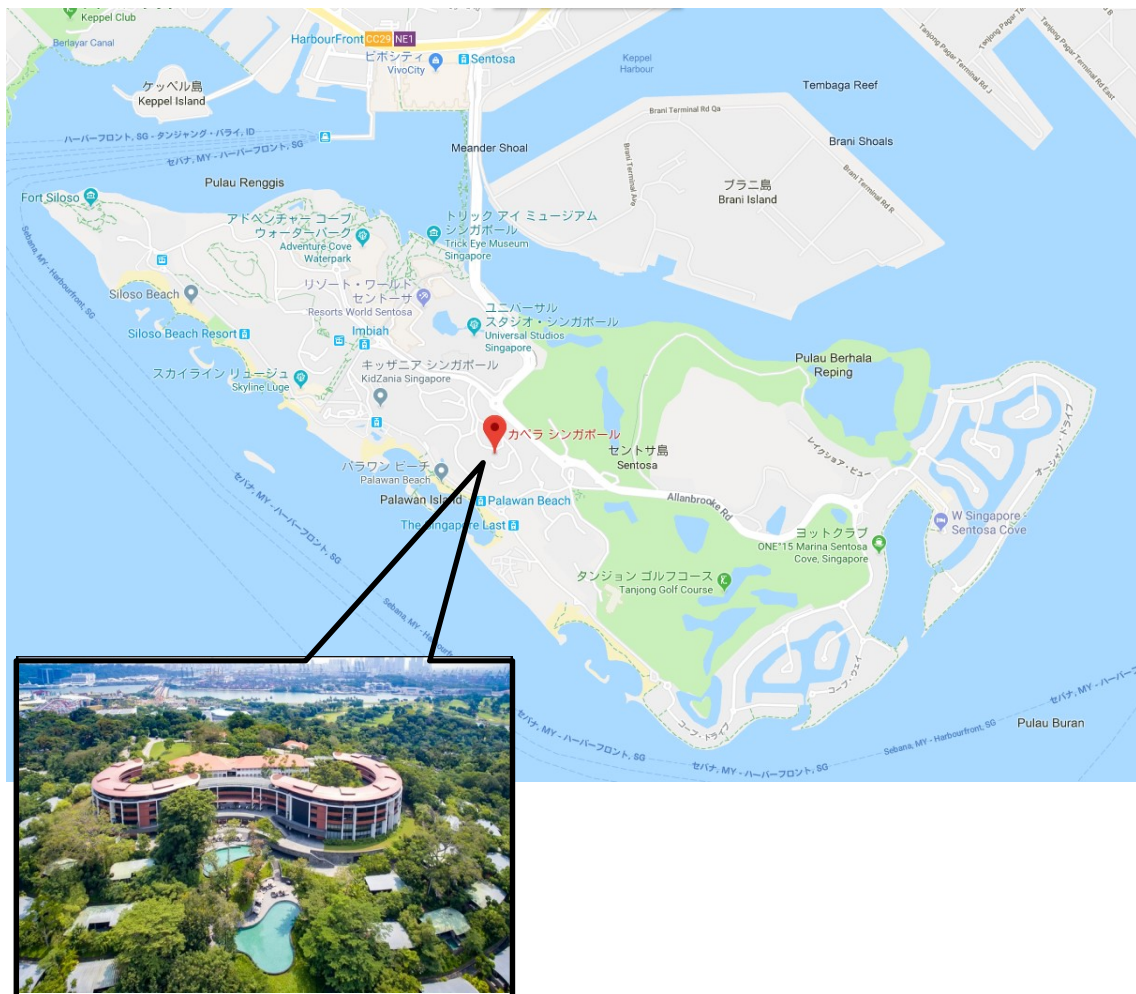
2018年6月7日現在

米朝首脳会談にかかる影響について

1 米朝首脳会談について

日時：2018年6月12日午前9時（予定）

場所：Capella Singapore（1 The Knolls Sentosa Singapore, 098297）



（参考）

取材メディアの拠点となるプレスセンターは、市中心部のF1関連施設内に設置される見通し。3,000人を超える記者やカメラマンが海外から訪問する見込み。

2 米朝首脳会談にかかる影響について

(1) セキュリティ強化区域等の指定

ア セントーサ島及び外務省・米大使館・宿泊ホテルがある市中心部をセキュリティ強化区域 (Enhanced Security Special Event Areas)に指定。さらにセキュリティ強化のため、検問が行われる特別区域 (Special Zones)が指定されている。

○指定期間は10日～14日

○セキュリティ強化区域への主な持ち込み禁止物

- ・危険物、可燃物
- ・スプレーや拡声器、国旗（政治的活動につながりそうなもの）
- ・電波を発する機器（通信を妨害する恐れのあるもの）
- ・遠隔操作が可能な飛行機器（ドローンなど）

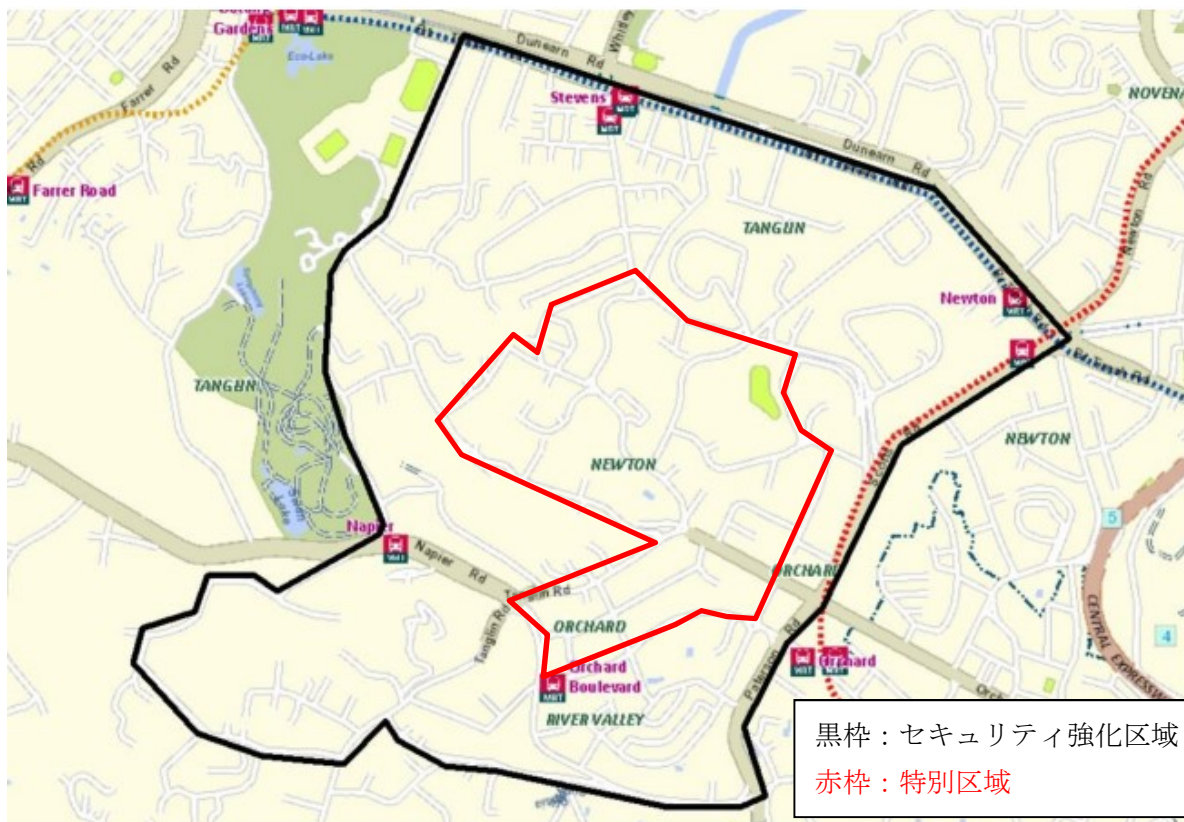
○特別区域では人・車両に対する検問を実施

（セキュリティ強化区域でも行われる可能性はある）

イ シンガポール島東のパヤレバ空軍基地への航空機の接近を禁止
（過去の米大統領が来星した際に使用した基地）



【セントーサ島内のセキュリティ強化区域・特別区域の指定】



【市中心部のセキュリティ強化区域・特別区域の指定】

(2) 交通機関への影響

ア 航空機

シンガポール民間航空庁より、6月10日午前8時～14日深夜まで、滑走路及び空域の使用に制限をかけるため、この期間中にチャンギ空港を使用する場合は、フライトの遅れを十分に予想して行動するようにと発表された。

※チャンギ空港への入場等に係るセキュリティ対応については現在のところ告知されている情報はなし。

イ MRT・バス等

特に告知されている情報はないが、セキュリティ強化区域や特別区域内の運行には影響が出ることが想定される。(セキュリティチェックや運休等)

※情報はクレアシンガポール事務所が独自に調査したものです。

詳細な情報については、大使館や現地機関の発表する情報・関連報道にご留意ください。